

第3期

虎姫地区

おたがいさん活動計画

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度

とらい
レッツ虎意！もちつ もたれつ
おたがいさんのおつきあい



第3期虎姫地区おたがいさん活動計画策定委員会

目 次

1. 計画の概要	p.2
▶ 虎姫地区おたがいさん活動計画とは(計画の背景)	
▶ 計画の位置づけ	
▶ 計画の期間	
▶ 計画策定の体制	
▶ 計画策定の手法	
2. 計画策定に関わる情報	p.4
▶ 第2期計画期間をふり返って(令和元(2019)年度～令和5(2023)年度)	
▶ 虎姫地区福祉データ	
▶ アンケート調査結果より	
▶ 福祉懇談会より	
3. 理念と基本目標	p.11
▶ 理念	
▶ 基本目標	
◆ 基本目標1「感じあえる・響きあえる居場所づくり」	
◆ 基本目標2「いざという時に生きるつながりづくり」	
◆ 基本目標3「ふれあいと交流があふれる地域づくり」	
◆ 基本目標4「支えあいでつながる地域づくり」	
4. 計画の推進方法	p.13
▶ 計画の推進方法	
▶ 計画の推進体制	
5. 計画策定に関わる資料	p.14
▶ 計画推進に関わる作業概要(日程)	
▶ 計画推進委員会名簿	

1. 計画の概要

▶虎姫地区おたがいさん活動計画とは(計画の背景)

虎姫地区では、福祉(暮らし)について住民みんなで考え、行動するための指針として、平成28年に「第1期虎姫地区おたがいさん活動計画」を策定しました。さらに平成31年3月には「第2期虎姫地区おたがいさん活動計画」を策定し、「レッツ虎意！もちつ もたれつ おたがいさんのおつきあい」を基本理念に様々な活動に取り組み、展開してきました。

しかしながら、この間にも、虎姫地区においても高齢化率が徐々に増加し、ひとり暮らし高齢者や要介護認定者、しょうがい者など、支援を必要とする人が増加してきています。また、隣近所間のつながりの希薄化や地域活動の担い手の減少など、これまでの計画から継続して取り組む必要性のある課題があります。

また一方で、新型コロナウイルスの影響などから、生活に困窮している方、ひきこもりなど、地域の中で孤立してしまっている人の課題など、新たな課題も浮かび上がり、国を挙げた「地域共生社会」の推進を図っているところ です。

このようなことから、地域福祉をさらに発展的に推進し、かつ新たな課題への対応を図っていくために「第3期虎姫地区おたがいさん活動計画」(以下、「第3期計画」)を策定します。

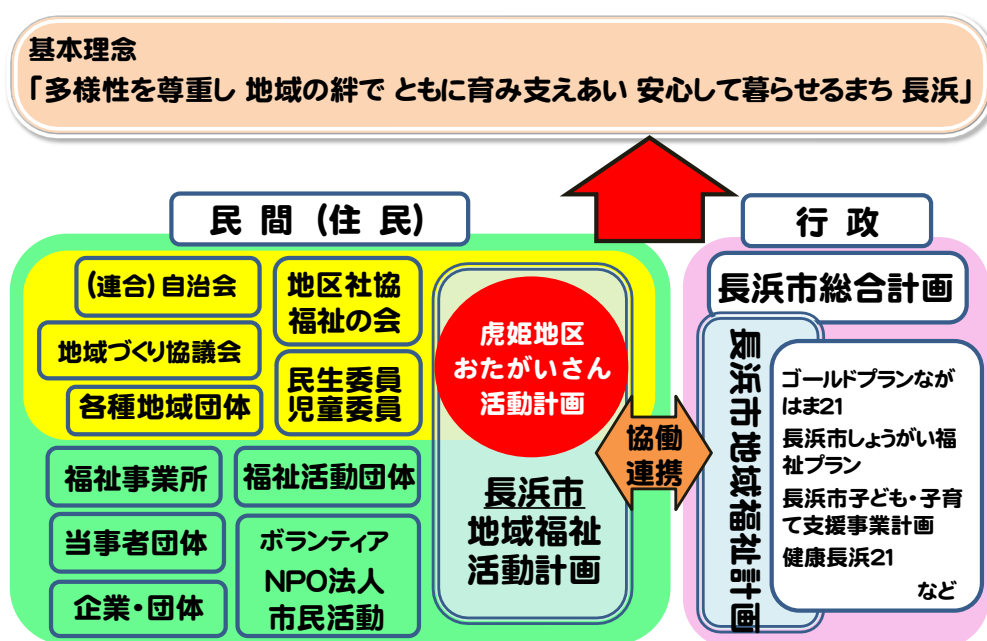
▶計画の位置づけ

「虎姫地区おたがいさん活動計画」は「住民参加」による活動・実践と、行政や関係機関・団体との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

「長浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定することで、市域、地区域のエリアによる活動メリットを最大限活かせる活動展開を計画します。

また、長浜市が策定する行政の地域福祉に対する施策計画である「長浜市地域福祉計画」と連携・協働し、公民協働による地域福祉を推進します。

計画の位置づけ



▶計画の期間

◆令和6(2024)～10(2028)年度の5カ年計画

第3期計画は、同じく住民主体の活動の計画として関連性が非常に大きい「長浜市地域活動計画」と計画期間を合わせ福祉活動の展開に取り組みます。

▶計画策定の体制

第3期計画は虎姫地区内の福祉活動団体を中心とした「虎姫地区地域福祉活動計画策定委員会」を設置し、計画策定に関わる協議を行いました。

また、虎姫福祉の会内で「コアメンバー会議」として計画に関わる細かな作業を行いました。(※詳細は p.15を参照ください。)

▶計画策定の手法

第3期計画の策定にあたっては以下の手法をもとに情報収集・分析を行いました。(※詳細は p.5～10を参照ください。)

●データ分析

各専門職等から参考データを提供いただき、各分野のデータ分析を行います。

また、人口動態など基本データを使用することで現在の地域状況を調査しました。

●アンケート調査の実施

虎姫地区内の各福祉団体代表者や福祉活動者を対象とし、自治会の現状や地域福祉に関する意向などを把握することを目的としたアンケート調査を行いました。

●福祉懇談会の実施

虎姫地区内の各福祉団体代表者や福祉活動者を対象とし、今後どのような福祉活動が必要か意見交換を行いました。

2. 計画策定に関わる情報

▶第2期計画期間をふり返って(令和元(2019)年度～令和5(2023)年度)

第2期計画は「レッツ虎意！もちつ もたれつ おたがいさんのおつきあい」の理念のもと、下記の4つの基本目標に沿った活動を展開してきました。

◆基本目標① 感じあえる・響きあえるは～とらんど(居場所)づくり

子育て交流(おもちゃ図書館)、当事者交流(介護者茶話会)、趣味・世代交流の場などの開催により、虎姫地区の住民が気楽に集い交流できる居場所を作りました。は～とらんど(居場所)による交流と外出の機会づくり、趣味活動をととした生きがいがづくりの促進に取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大の影響でほとんどの活動が規模を縮小しましたが、地域ニーズに合わせた活動の再活性化に向け動き始めています。

◆基本目標② 災害にも強いネットワークづくり

虎姫福祉の会と虎姫地域づくり協議会が連携し、認知症講座や、認知症によるひとり歩きを想定した捜索訓練を行いました。実際に行方不明になられる方が増える中、認知症への関心が高まっています。また、虎姫福祉の会では「長浜市避難支援見守り支えあい制度」と連動した命のバトンの取り組みを開始しました。普段の見守り活動がもしものときにも生きるようしくみを整えました。

◆基本目標③ おたがいさんの声が聴こえる地域づくり

各自治会で活動しているサロンをはじめ、各種福祉団体の支援をとおして、ふれあいと交流のあるまちづくりに取り組みました。サロンスタッフ交流会の開催を通じて、新型コロナウイルス禍においても、活動状況や活動のヒントを共有する機会づくりに努めました。また、虎姫地区内のイベントへの参加・協力による地域ふれあいづくりに取り組みました。

◆基本目標④ 支えあいでつながる地域づくり

虎姫地区内の困りごとをテーマに「暮らしの支えあい検討会」を開催し、問題解決のため住民でできることを協議しました。令和3年5月には生活支援ボランティア団体「たすけあい隊」が発足しました。高齢者世帯・しょうがい者世帯を対象に、日常生活のちょっとした困りごとをお手伝いしています。

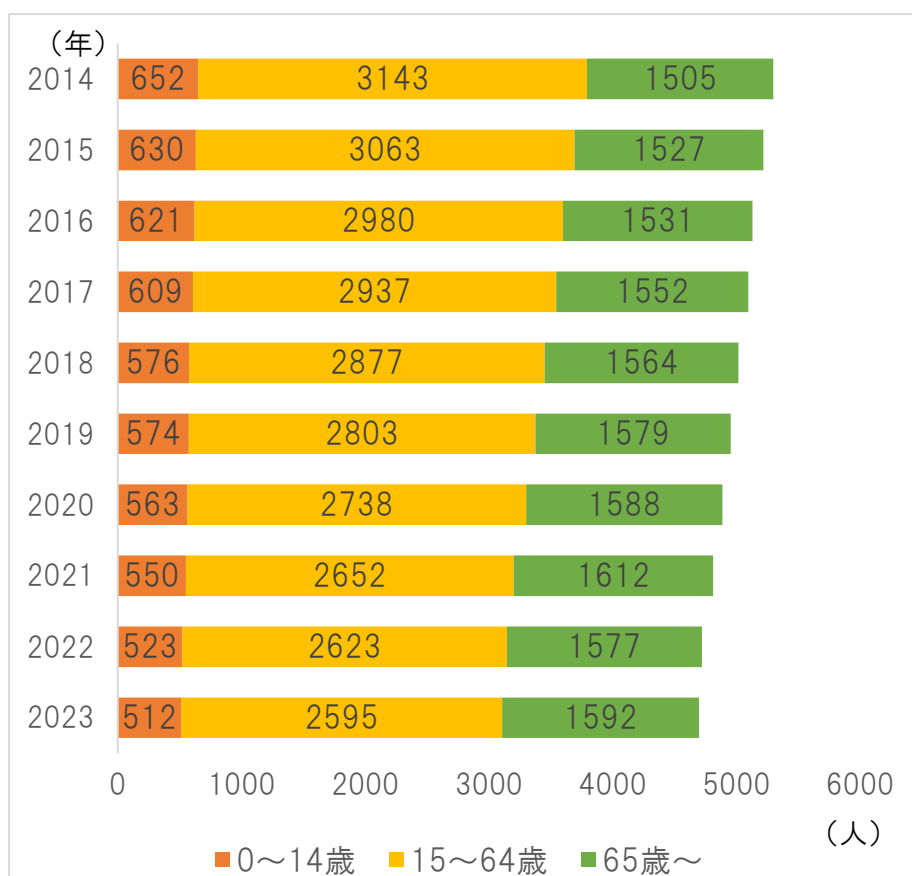
▶虎姫地区福祉データ

①虎姫地区 自治会別福祉データ(令和5年4月1日時点)

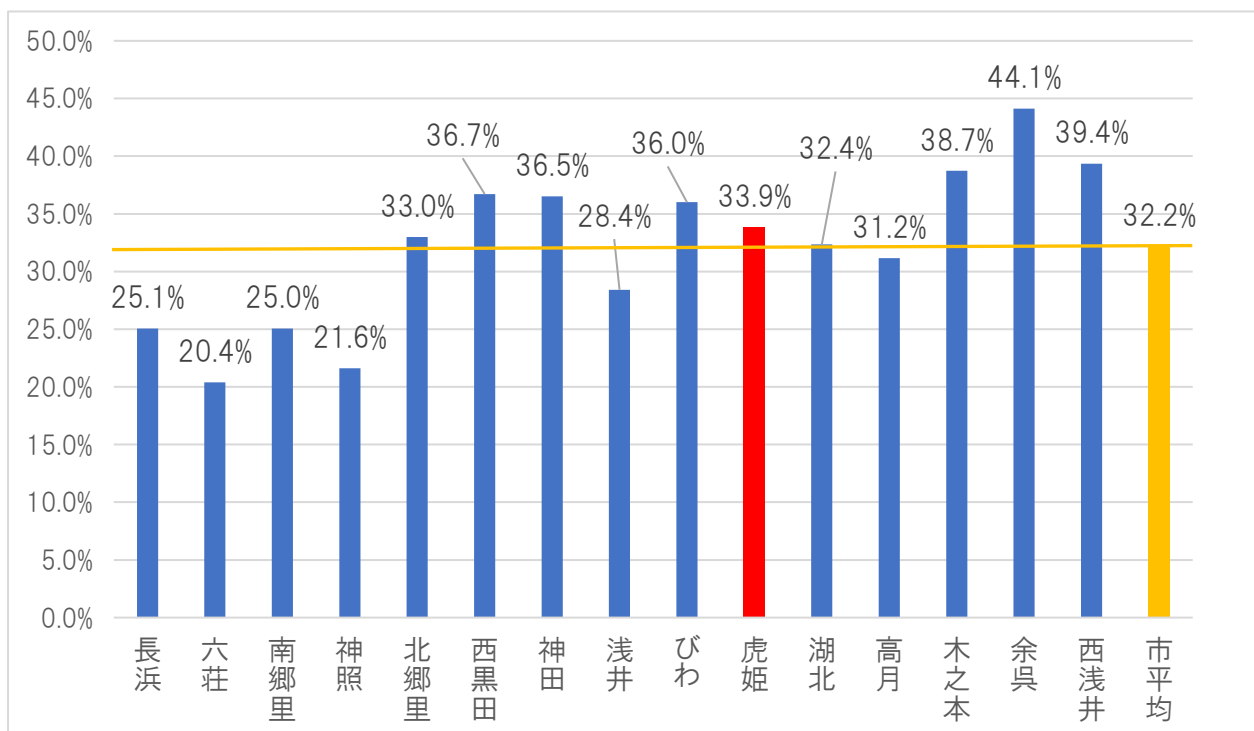
自治会名	世帯数	男性	女性	合計	年少人口	生産年齢人口	高齢者人口	80歳以上人口	高齢化率	サロン	教室 転倒予防	民生委員
唐国	119	150	135	285	25	151	109	37	38.2%	○	○	1
月ヶ瀬	107	132	102	234	27	125	82	25	35.0%	○	○	1
虎姫本町	47	51	68	119	5	62	52	18	43.7%	○	○	1
大寺	93	129	140	269	35	130	104	36	38.7%	○	○	2
中野	120	141	164	305	33	144	128	32	42.0%	○	○	1
三川	195	212	250	462	58	245	159	59	34.4%	○	○	1
宮部	218	298	298	596	60	336	200	95	33.6%	○	○	2
大井	133	159	209	368	40	183	145	53	39.4%	○		1
西大井	54	42	37	79	4	52	23	4	29.1%			1
桜町	255	226	253	479	56	272	151	43	31.5%			2
柿ノ木	84	63	79	142	10	83	49	13	34.5%			1
長田	130	121	132	253	36	165	52	12	20.6%			1
新旭町	221	185	179	364	37	218	109	22	29.9%			3
酢	128	148	155	303	38	179	86	40	28.4%	○	○	1
五村	111	135	132	267	36	159	72	25	27.0%	○		1
田	76	92	82	174	12	91	71	17	40.8%	○		2
合計	2091	2284	2415	4699	512	2595	1592	531	33.9%	11	8	22

※「民生委員」の合計は主任児童委員 2 名を含む

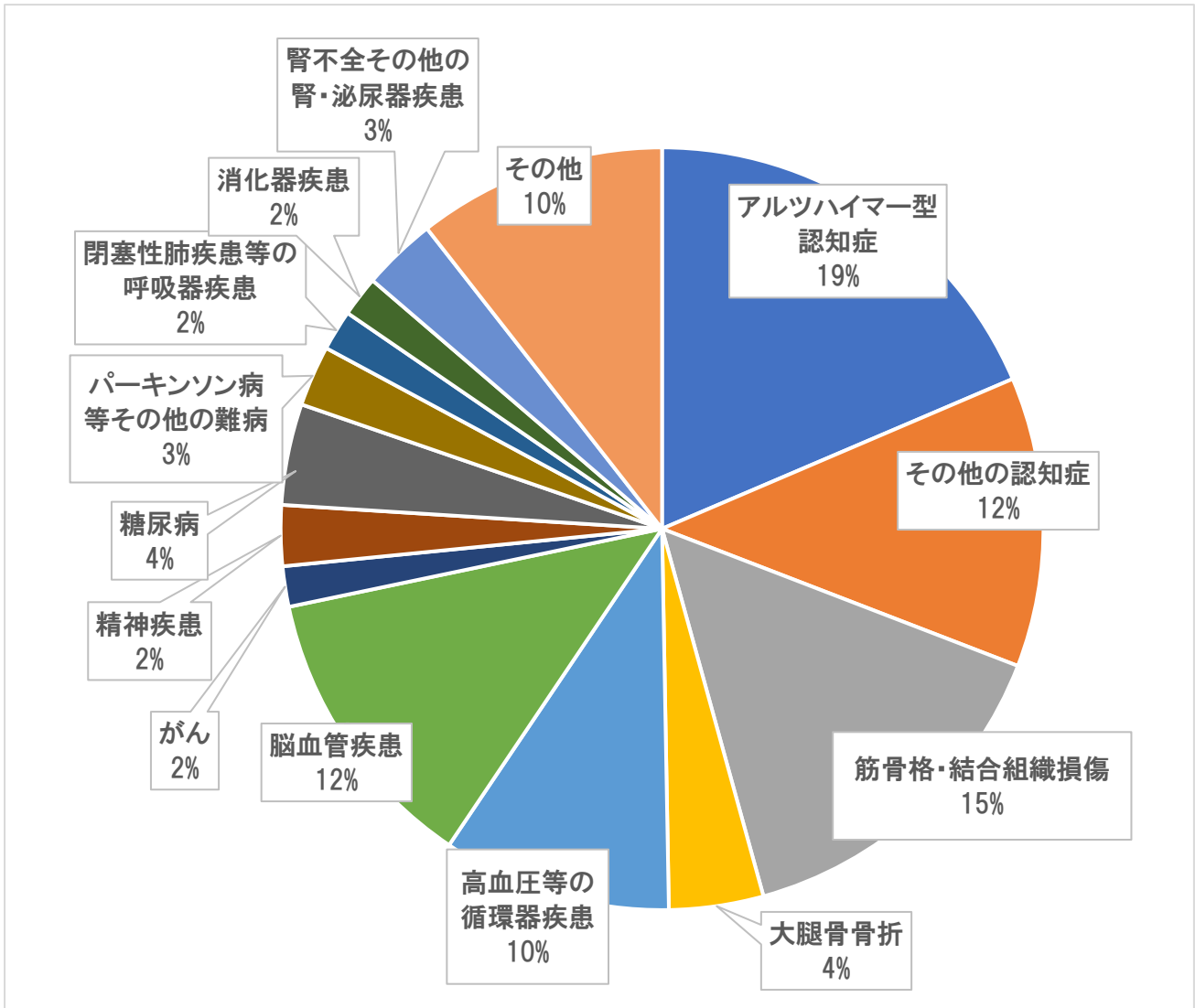
②虎姫地区 年代別人口推移(基準日:4月1日)



③長浜市地区別高齢化率(令和5年4月1日時点) ※長浜市住民基本台帳より



④虎姫地区 65歳以上の要介護認定原因疾患(令和5年4月1日時点) ※長浜市長寿推進課調べ



虎姫地区においても若い世代の人口は年々減少しており、高齢化が着実に進んでいます(グラフ②)。また、人口に占める65歳以上の割合を示す高齢化率は、長浜市全体の平均値より高くなっています(グラフ③)。

要介護認定の原因としては、全体の4分の1以上を認知症が占めています(グラフ④)。最近では認知症によるひとり歩きで行方不明になるケースが増えています。令和5年4月時点で虎姫地区では過去に7名の方が行方不明になられています。

▶アンケート調査結果より

「第3期虎姫地区おたがいさん活動計画」策定に関わる福祉活動アンケート調査

令和5年8月実施 依頼数:59 回答数:37

※()内は回答件数(複数回答あり)

◆自治会の福祉的強み、良いところ

- ・自治会活動に熱心 (11)
- ・民生委員さんと自治会の連携がある (21)
- ・サロン活動を行っている (20)
- ・災害を想定した安否確認や避難支援の取り組みがある (16)
- ・助け合い、支え合いの意識がある (16)

【その他】

- ・昨年災害訓練を実施した(中野)
- ・今年夏祭りを再開した(宮部)

◆虎姫地区の福祉的課題

- ・子どもや若い世代の減少(33)
- ・活動の担い手不足 (23)
- ・自治会加入率減少 (2)
- ・声を掛け合える関係が薄れてきた (17)
- ・交流の機会の減少 (26)
- ・災害時などの安否確認や避難支援 (14)
- ・ひきこもり、ニートの増加 (2)
- ・助け合いや支え合いの意識が薄い (10)

【その他】

- ・若い人の関心がない
- ・超高齢化や若い世代の減少でコミュニティの存続が危ぶまれる
- ・世話される側と見守る側のバランスが崩れている

◆今後自治会に必要な取り組み

- ・子育て支援 (3)
- ・高齢者の交流の機会づくり (12)
- ・多世代交流機会の増加 (25)
- ・助け合い、支え合いを大切にする意識づくり (24)
- ・認知症への理解を深める勉強会 (13)
- ・認知症ひとり歩きによる行方不明者の捜索訓練 (6)

- ・買い物支援（13）
- ・日常生活の困りごと支援（15）
- ・防災訓練（16）
- ・防災福祉マップ（9）
- ・命のバトン（5）

【その他】

- ・婚活支援
- ・上記を自治会でできればいいに決まっているが、それすらできない
- ・何が必要なかわからない

◆虎姫福祉の会に求めること

- ・虎姫地域のつながりづくり(居場所、多世代交流事業等)（14）
- ・虎姫地域の意識向上(広報紙、研修会、出前講座等)（17）
- ・自治会のふれあいと交流の支援(サロン支援等)(12)
- ・子育て支援活動(15)
- ・高齢者、しょうがい者世帯の日常生活支援(24)

【その他】

- ・防災意識、情報等の研修機会の増加

上記の結果から、若い世代や活動者の減少は多くの方が課題と感じておられます。コロナ禍が落ち着き、自治会の行事を再開されたところもありましたが、交流の機会自体は減っているようです。支えあい意識の薄れもあって、活動が進めにくいという声もありました。

自治会ごとのサロンや防災活動等の強みをさらに活かせるよう、虎姫地区全域で支え合いの意識を高めることが必要と思われます。高齢者や子ども、子育て世代など、幅広い世代を対象とした福祉活動が求められています。

▶福祉懇談会より

「虎姫地区福祉懇談会」を開催し、各団体代表者等による意見交換会を行いました。第3期計画の基本目標に沿い、4つのテーマについて、今後どのような取り組みが必要か話し合った結果、下記のとおり意見がまとめられました。

1)開催日時

令和5年9月21日(木) 10:00～12:00 会場:虎姫まちづくりセンター

2)出席者

虎姫福祉の会、虎姫地域づくり協議会、虎姫地区民生委員児童委委員協議会

3)テーマ

◆つながりを深める居場所づくり

コロナ禍で中止していたイベントを再開する動きが高まる反面、従来のサロンでは参加者が集まらないという声もありました。すでに虎姫地区内では、高齢者、子どもを問わず全世代を対象としたサロンも開催されています。また、「つなぎのサロン」など、青壮年の参加・育成を促すための居場所を開く自治会もあります。従来の形にとらわれない、幅広い世代を対象とした居場所づくりが望まれています。

◆地区内の交流の場への支援

特に子育て世代の思い出づくりのため、虎姫福祉の会による全世代型のイベント開催が望まれています。若い世代をまきこみ、交流の活性化や担い手の発掘を図ります。また、地区内のサロン等、活動者同士の横のつながりづくりを継続します。

◆自治会や地区での防災体制・見守り体制について

自治会等の組織が変わっても、一人ひとりが防災意識を持っておくことが重要です。お互いに見守り合い、顔の見える関係は、いざという時の安心感につながります。

虎姫地域づくり協議会では毎年「防災福祉マップ」の更新を行っています。自治会内でのマップの活用を促し、住民が我が事として防災意識を持てるよう働きかけが必要と思われまます。

◆身近な困りごとを支援するための体制について

令和3年に「たすけあい隊」が発足し、高齢者・しょうがい者世帯を対象とした日常生活支援を行ってきました。今後、ひとり暮らし高齢者や認知症の方への支援がますます必要になると思われまます。最近、複合的な困りごとを持つ方も増えています。こうした困りごとをひとりで背負わず、地域で協力して解決を目指します。そのためには地域住民一人ひとりが我が事として考え、できることを検討していくことが大切です。

3. 理念と基本目標

▶理念

「レッツ虎意！もちつ もたれつ おたがいさんのおつきあい」

第2期計画の理念を引き継ぎ、住民参加による地域福祉を推進します。

▶基本目標

以下の4つの基本目標に沿い、活動を展開します。

◆基本目標① 感じあえる・響きあえる居場所づくり

【目指す姿】

さまざまな人が気楽につどい交流できる機会、趣味活動を活かした生きがいの場をつくります。また、幅広い世代を対象とした新しい居場所づくりを推進し、地域の活性化を図ります。

【推進する活動】

- *いろいろな世代が集まれる場をつくろう
- ・は～とらんど(歌声喫茶、介護者茶話会、包丁とぎ、子ども企画、おもちゃ図書館など)
- *「こんなことができたらいいな」の夢を実現しよう
- ・生きがいづくり講座(料理教室など)

◆基本目標② いざという時に生きるつながりづくり

【目指す姿】

虎姫地区の企業・団体・個人と連携し、災害時などいざという時につながる活動を行います。平時から情報交換・意見交換・研修をとおして共通理解と連携を深めます。一人ひとりが我が事意識を持ち、ご近所同士で顔の見える関係をつくることで、安心して暮らせるまちを目指します。

【推進する活動】

- *地域のつながりを活かして防災意識を広めよう
- ・災害研修
- ・各種ツールの活用(防災福祉マップ、命のバトン)
- *地域のみんなで共通理解と連携を深めよう
- ・認知症に関する研修、行方不明者の搜索訓練

◆基本目標③ ふれあいと交流があふれる地域づくり

【目指す姿】

サロンや各種福祉団体のさらなる活動充実のため、支援を行います。気軽に情報交換が行えるよう、活動者同士のつながりを深めます。また、地区内の交流活動をとおして、虎姫に住んで良かったと思えるあたたかなふれあいをつくります。

【推進する活動】

* 交流活動を盛り上げよう

- ・大道芸フェスタ in 虎御前
- ・多世代交流事業
- ・サロン、福祉活動団体助成
- ・地区内福祉施設等へのイベント支援

* 気楽に情報交換しよう

- ・サロンスタッフ交流会

◆基本目標④ 支えあいにつながる地域づくり

【目指す姿】

誰もが住み慣れた虎姫地区で暮らしていくため、おたがいさんの気持ちで支えあう生活支援活動を行います。活動の中で見えてくる困りごとを我が事として考え、課題解決に向けた仕組みをつくります。困りごとをみんなで考え、住民一人ひとりがいきいきと暮らせる地域を目指します。

【推進する活動】

* 「手伝おか」「手伝って」の言い上手になろう

- ・たすけあい隊(生活支援ボランティア)

* ひとりで背負わず、みんなで考えよう

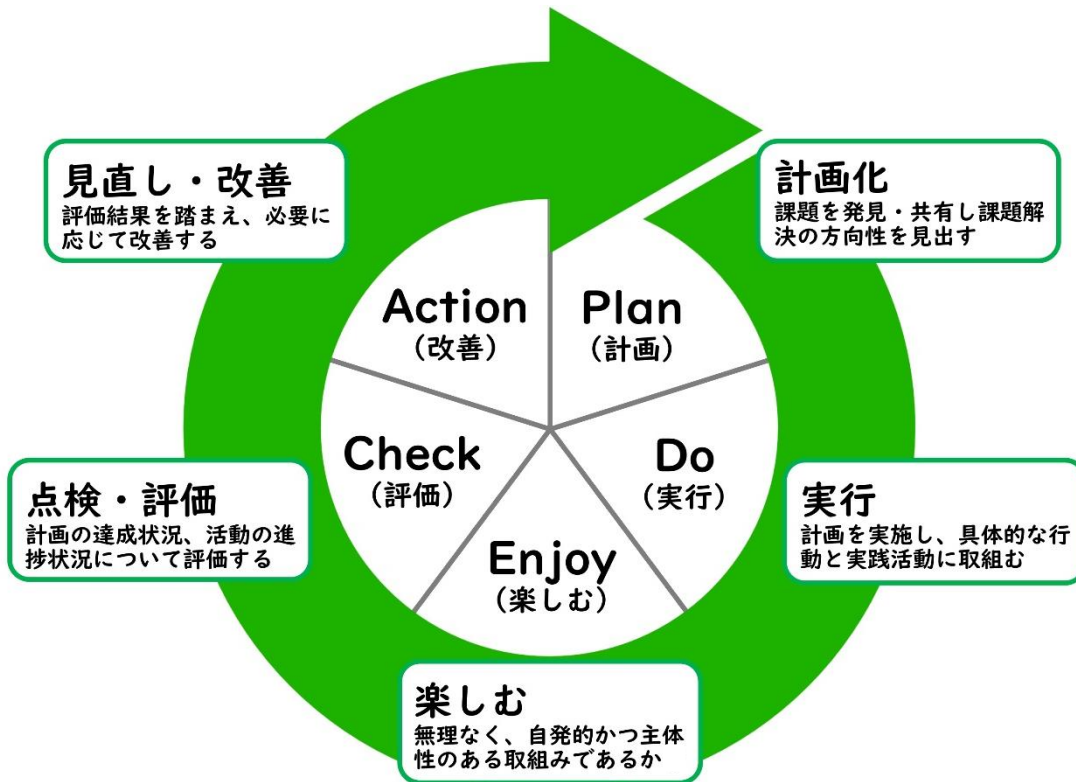
- ・暮らしの支えあい検討会

4. 計画の推進方法

▶計画の推進方法

計画の実効性を高め、円滑で確実な実施を図るため、虎姫福祉の会を中心に各関係団体と連携し、計画の適切な進行管理を図ります。定期的に計画の進捗状況や達成度を把握、評価し、必要に応じて適宜見直しを行います。

常により良い活動や取り組みを推進する PDCA サイクルに「E (Enjoy) 楽しむ」の要素を盛り込み、地域住民が楽しさを感じながら無理なく地域福祉活動の推進に取り組める体制を整えます。



▶計画の推進体制

虎姫福祉の会を中心に、各団体と連携しながら定期的な活動の推進や進捗管理に取り組みます。

5. 計画策定に関わる資料

▶計画策定に関わる作業概要(日程)

時 期	内 容	備 考
令和5年 2月	虎姫福祉の会 三役会	・第3期計画策定の協議
4月	虎姫福祉の会 評議員会	・第3期計画策定の説明 (年間事業計画)
6月	第1回 コアメンバー会議	・計画策定の説明 ・第2期計画の振り返り ・策定方法の協議
7月	第1回 策定委員会	・計画策定の説明 ・第2期計画の振り返り ・策定方法の協議
	アンケート調査の依頼	
8月	アンケート調査の回収	
	第2回 コアメンバー会議	・アンケート結果について ・福祉懇談会について
9月	第2回 策定委員会	・アンケート結果について ・福祉懇談会について
	虎姫地区福祉懇談会	
11月	第3回 コアメンバー会議	・福祉懇談会まとめ ・第3期計画素案について ・印刷物作成について
	第3回 策定委員会	・福祉懇談会まとめ ・第3期計画素案について ・ダイジェスト版について
12月	第4回 コアメンバー会議	・第3期計画素案について ・ダイジェスト版について
	第4回 策定委員会	・第3期計画素案について ・ダイジェスト版について
令和6年 1月	第5回 策定委員会	・第3期計画(完成) ・ダイジェスト版デザイン校正
2月	第6回 策定委員会	・ダイジェスト版デザイン校正
4月	虎姫福祉の会評議員会	・評議員会にて承認
6月	ダイジェスト版全戸配布	・6/1 自治会便

▶計画策定委員会名簿

第3期虎姫地区おたがいさん活動計画策定委員会名簿

※敬称略・五十音順

	氏名	団体名・役職名		備考
1	松見 学	虎姫福祉の会	会長	コアメンバー
2	藤井 巖	虎姫福祉の会	副会長	コアメンバー
3	脇坂 良子	虎姫福祉の会	副会長	コアメンバー
4	橋井 二郎	虎姫福祉の会	理事	
5	田中 幹枝	虎姫福祉の会	理事	
6	田邊 太美雄	虎姫福祉の会	顧問	
7	三谷 新治	虎姫地区民生委員児童委員協議会	会長	
8	西河 由雅	虎姫地区民生委員児童委員協議会	副会長	
9	カ石 美智子	虎姫地区民生委員児童委員協議会	副会長	
10	国友 強	長浜市ボランティア連絡協議会虎姫支部	代表	
		長浜市老人クラブ連合会虎姫支部	代表	
11	上阪 満	たすけあい隊(生活支援活動団体)	隊長	